

水質基準項目

	検 査 項 目	基準値等
1	一般細菌	100個/mL以下
2	大腸菌	検出されないこと
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L
5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下
6	鉛及びその化合物	0.01mg/L
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下
8	六価クロム化合物	0.02mg/L以下
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下
14	四塩化炭素	0.002mg/L以下
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
20	ベンゼン	0.01mg/L以下
21	塩素酸	0.6mg/L以下
22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下
23	クロロホルム	0.06mg/L以下
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下
26	臭素酸	0.01mg/L以下
27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下
29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下
30	ブロモホルム	0.09mg/L以下
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下
34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下
35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下
38	塩化物イオン	200mg/L以下
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下
40	蒸発残留物	500mg/L以下
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下
42	ジェオスミン	0.0001mg/L以下
43	2-メチルイソボルネオール	0.0001mg/L以下
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下
45	フェノール類	0.005mg/L以下
46	有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/L以下
47	pH値	5.8以上8.6以下
48	味	異常でないこと
49	臭気	異常でないこと
50	色度	5度以下
51	濁度	2度以下

水質管理目標設定項目

番号	項目	目標値
1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/L以下
2	ウラン及びその化合物	0.002mg/L以下(暫定)
3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/L以下
4	削除	削除
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
6	削除	削除
7	削除	削除
8	トルエン	0.4mg/L以下
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/L以下
10	亜塩素酸	0.6mg/L以下
11	削除	削除
12	二酸化塩素	0.6mg/L以下
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L以下(暫定)
14	抱水クロラール	0.02mg/L以下(暫定)
15	農薬類(別表2-(2))	検出地と目標値の比の和として、1以下
16	残留塩素	1mg/L以下
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/L以上100mg/L以下
18	マンガン及びその化合物	0.01mg/L以下
19	遊離炭酸	20mg/L以下
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下
21	メチル-t-ブチルエーテル	0.02mg/L以下
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/L以下
23	臭気強度(TON)	3以下
24	蒸発残留物	30mg/L以上200mg/L以下
25	濁度	1度以下
26	pH値	7.5程度
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上 極力0に近づける
28	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集落数が 2,000以下(暫定)
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下
30	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/L以下
31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)の量の和として、 0.00005mg/

水質管理目標設定項目の内農薬類(目15)の設定項目

農薬番号	農薬成分	農薬番号	農薬成分
1	1, 3 - ジクロロプロペン(D - D)	61	チオベンカルブ
2	2, 2 - DPA(ダラボン)	62	テフリルトリオン
3	2, 4 - D(2, 4 - PA)	63	テルブカルブ(MBPMC)
4	EPN	64	トリクロピル
5	MCPA	65	トリクロルホン(DEP)
6	アシュラム	66	トリシクラゾール
7	アセフェート	67	トリフルラリン
8	アトラジン	68	ナプロパミド
9	アニロホス	69	パラコート
10	アミトラズ	70	ピペロホス
11	アラクロール	71	ピラクロニル
12	イソキサチオン	72	ピラゾキシフェン
13	イソフェンホス	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)
14	イソプロカルブ(MIPC)	74	ピリダフェンチオン
15	イソプロチオラン(IPT)	75	ピリプチカルブ
16	イプフェンカルバゾン	76	ピロキロン
17	イプロベンホス(IBP)	77	フィプロニル
18	イミノクタジン	78	フェニトロチオン(MEP)
19	インダノファン	79	フェノブカルブ(BPMC)
20	エスプロカルブ	80	フェリムゾン
21	エトフェンプロックス	81	フェンチオン(MPP)
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	82	フェントエート(PAP)
23	オキサジクロメホン	83	フェントラザミド
24	オキシニ銅(有機銅)	84	フサライド
25	オリサストロビン	85	ブタクロール
26	カズサホス	86	ブタミホス
27	カフェンストロール	87	ブプロフェジン
28	カルタップ	88	フルアジナム
29	カルバリル(NAC)	89	プレチラクロール
30	カルボフラン	90	プロシミドン
31	キノクラミン(ACN)	91	プロチオホス
32	キャブタン	92	プロピコナゾール
33	クミルロン	93	プロピザミド
34	グリホサート	94	プロベナゾール
35	グルホシネート	95	プロモブチド
36	クロメプロップ	96	ベノミル
37	クロルニトロフェン(CNP)	97	ペンシクロン
38	クロルピリホス	98	ベンゾビシクロン
39	クロロタロニル(TPN)	99	ベンゾフェナップ
40	シアナジン	100	ベンタゾン
41	シアノホス(CYAP)	101	ペンディメタリン
42	ジウロン(DCMU)	102	ベンフラカルブ
43	ジクロベニル(DBN)	103	ベンフルラリン(ベスロジン)
44	ジクロルボス(DDVP)	104	ベンフレセート
45	ジクワット	105	ホスチアゼート
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	106	マラチオン(マラソン)
47	ジチオカルバメート系農薬	107	メコプロップ(MCPP)
48	ジチオピル	108	メソミル
49	シハロホップブチル	109	メタラキシル
50	シマジン(CAT)	110	メチダチオン(DMTP)
51	ジメタメトリン	111	メトミノストロビン
52	ジメトエート	112	メトリブジン
53	シメトリン	113	メフェナセート
54	ダイアジノン	114	メプロニル
55	ダイムロン	115	モリネート
56	ダノメット、メタム(カーバム)及びメチルイソチオシアネート		
57	チアジニル		
58	チウラム		
59	チオジカルブ		
60	チオフアネートメチル		

別表 3

原水管理項目

番 号	項 目
1	アンモニア態窒素
2	生物化学的酸素要求量 (BOD)
3	化学的酸素要求量 (COD)
4	紫外線 (UV) 吸光度
5	浮遊物質 (SS)
6	侵食性遊離炭酸
7	全窒素
8	全りん
9	トリハロメタン (THM) 生成能
10	生物

別表 4

要 検 討 項 目

番 号	項 目	目 標 値 (mg/L)
1	銀及びその化合物	—
2	バリウム及びその化合物	0.7
3	ビスマス及びその化合物	—
4	モリブデン及びその化合物	0.07
5	アクリルアミド	0.0005
6	アクリル酸	—
7	17-β-エストラジオール	0.00008 (暫定値)
8	エチニル-エストラジオール	0.00002 (暫定値)
9	エチレンジアミン四酢酸 (EDTA)	0.5
10	エピクロロヒドリン	0.0004 (暫定値)
11	塩化ビニル	0.002
12	酢酸ビニル	—
13	2,4-トルエンジアミン	—
14	2,6-トルエンジアミン	—
15	N,N-ジメチルアニリン	—
16	スチレン	0.02
17	ダイオキシン類	1pgTEQ/L (暫定値)
18	トリエチレンテトラミン	—
19	ノニルフェノール	0.3 (暫定値)
20	ビスフェノールA	0.1 (暫定値)
21	ヒドラジン	—
22	1,2-ブタジエン	—
23	1,3-ブタジエン	—
24	フタル酸ジ (n-ブチル)	0.01
25	フタル酸ブチルベンジル	0.5
26	マイクロキスチン-LR	0.0008 (暫定値)
27	有機すず化合物	0.0006※ (暫定値)
28	ブロモクロロ酢酸	—
29	ブロモジクロロ酢酸	—
30	ジブロモクロロ酢酸	—
31	ブロモ酢酸	—
32	ジブロモ酢酸	—
33	トリブロモ酢酸	—
34	トリクロロアセトニトリル	—
35	ブロモクロロアセトニトリル	—
36	ジブロモアセトニトリル	0.06
37	アセトアルデヒド	—
38	MX	0.001
39	削除	削除
40	キシレン	0.4
41	過塩素酸	0.025
42	削除	削除
43	削除	削除
44	N-ニトロソジメチルアミン (NDMA)	0.0001
45	アニリン	0.02
46	キノリン	0.0001
47	1,2,3-トリクロロベンゼン	0.02
48	ニトリロ三酢酸 (NTA)	0.2
49	ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	—

※トリブチルスズオキサイドの目標値

水道水質検査結果表 ・ () (年度) (No.)

設置者名			
浄水場等名		水源名	

区分	検査項目	基準値等	原水水質 ()				浄水水質					
			最高値	最低値	平均値	測定回数	最高値	最低値	平均値	測定回数		
基準	1 一般細菌	100個/mL以下										
	2 大腸菌	検出されないこと										
	3 カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下										
	4 水銀及びその化合物	0.0005mg/L										
	5 セレン及びその化合物	0.01mg/L以下										
	6 鉛及びその化合物	0.01mg/L										
	7 ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下										
	8 六価クロム化合物	0.02mg/L以下										
	9 亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下										
	10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下										
	11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下										
	12 フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下										
	13 ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下										
	14 四塩化炭素	0.002mg/L以下										
	15 1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下										
項目	16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下										
	17 ジクロロメタン	0.02mg/L以下										
	18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下										
	19 トリクロロエチレン	0.01mg/L以下										
	20 ベンゼン	0.01mg/L以下										
	21 塩素酸	0.6mg/L以下	—	—	—	—						
	22 クロロ酢酸	0.02mg/L以下	—	—	—	—						
	23 クロロホルム	0.06mg/L以下	—	—	—	—						
	24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	—	—	—	—						
	25 ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	—	—	—	—						
	26 臭素酸	0.01mg/L以下	—	—	—	—						
	27 総トリハロメタン	0.1mg/L以下	—	—	—	—						
	28 トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	—	—	—	—						
	29 ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	—	—	—	—						
	30 ブロモホルム	0.09mg/L以下	—	—	—	—						
31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	—	—	—	—							
目	32 亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下										
	33 アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下										
	34 鉄及びその化合物	0.3mg/L以下										
	35 銅及びその化合物	1.0mg/L以下										
	36 ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下										
	37 マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下										
	38 塩化物イオン	200mg/L以下										
	39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下										
	40 蒸発残留物	500mg/L以下										
	41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下										
	42 ジェオスミン	0.00001mg/L以下										
	43 2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下										
	44 非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下										
	45 フェノール類	0.005mg/L以下										
	46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下										
47 pH値	5.8以上8.6以下											
48 味	異常でないこと											
49 臭気	異常でないこと											
50 色度	5度以下											
51 濁度	2度以下											

- ・ 水源名には、関係する水源等を全て記入する。
- ・ 原水水質は原則着水井水質とし、これがない場合は最も取水量の多い水源1ヶ所の水質とする。
なお、記入した原水の名称を()内に記入する。(例 集合井、○○水源)
- ・ 浄水水質は原則浄水池水質とし、これがない場合は、代表的な地点1ヶ所の水質とする。
- ・ 基準値を超過している場合は、水質データの左の欄に*を記入する。
- ・ 大腸菌は、最高及び最低には“+”か“-”を、平均には陽性的回数記入する。
- ・ 味及び臭気が「異常なし」の場合は0を記入する。
- ・ 「水道統計調査の水質編」又は「水道事業者等が独自に作成する水質年報等」を提出することで、本報告を省略することができる。

水道水質検査結果表 (年度) (No.)

設置者名			
浄水場等名	水源名		

区分	検査項目	目標値	原水水質 ()				浄水水質				
			最高	最低	平均	測定回数	最高	最低	平均	測定回数	
水質管理目標設定項目	1 アンチモン及びその化合物	0.02mg/L以下									
	2 ウラン及びその化合物	0.002mg/L以下(暫定)									
	3 ニッケル及びその化合物	0.02mg/L以下									
	4 削除	削除									
	5 1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下									
	6 削除	削除									
	7 削除	削除									
	8 トルエン	0.4mg/L以下									
	9 フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)	0.08mg/L以下									
	10 亜塩素酸 ※	0.6mg/L以下									
	11 削除	削除									
	12 二酸化塩素 ※	0.6mg/L以下									
	13 ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L以下(暫定)									
	14 抱水クロラール	0.02mg/L以下(暫定)									
	15 農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下									
	16 残留塩素	1mg/L以下									
	17 カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	10mg/L以上 100mg/L以下									
	18 マンガン及びその化合物	0.01mg/L以下									
	19 遊離炭酸	20mg/L以下									
	20 1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下									
	21 メチル-tert-ブチルエーテル	0.02mg/L以下									
	22 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/L以下									
	23 臭気強度 (TON)	3以下									
	24 蒸発残留物	30mg/L以上 200mg/L以下									
	25 濁度	1度以下									
	26 pH値	7.5程度									
	27 腐食性 (ランゲリア指数)	-1程度以上とし 極力0に近づける									
	28 従属栄養細菌 (参考)一般細菌 (同時に実施されたもの)	1mlの検水で形成される集落数が2,000以下(暫定) -									
	29 1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下									
	30 アルミニウム及びその化合物	0.1mg/L以下									
	31 ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペリフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA)	PFOS及PFOAの量の和として0.0005mg/L以下(暫定)									

- ・ 水源名には、関係する水源等を全て記入する。
- ・ 原水水質は原則着水井水質とし、これがない場合は最も取水量の多い水源1ヶ所の水質とする。
- ・ なお、記入した原水の名称を () 内に記入する。(例 集合井、○○水源)
- ・ 浄水水質は原則浄水池水質とし、これがない場合は、代表的な地点1ヶ所の水質とする。
- ・ 目標値を超過している場合は、水質データの左の欄に「*」を記入する。
- ・ 「水道統計調査の水質編」又は「水道事業者等が独自に作成する水質年報等」を提出することで、本報告を省略することができる。
- ・ ※は浄水又は浄水処理過程で二酸化塩素を使用する場合に実施する項目である。

区分	検査項目	目標値 (mg/L)	調査結果	原水水質 ()				浄水水質					
				最高	最低	平均	測定 回数	最高	最低	平均	測定 回数		
	62 テフリルトリオン	0.002											
	63 テルブカルブ (MBPMC)	0.02											
	64 トリクロビル	0.006											
	65 トリクロロホン (DEP)	0.005											
	66 トリシクラゾール	0.1											
	67 トリフルラリン	0.06											
	68 ナプロバミド	0.03											
	69 パラコート	0.01											
	70 ビペロホス	0.0009											
	71 ビラクロニル	0.01											
	72 ビラゾキシフェン	0.004											
	73 ビラゾリネート (ヒラゾレト)	0.02											
	74 ビリダフェンチオン	0.002											
	75 ビリブチカルブ	0.02											
	76 ビロキロン	0.05											
	77 フィプロニル	0.0005											
	78 フェントロチオン (MEP)	0.01											
	79 フェノブカルブ (BPMC)	0.03											
	80 フェリムゾン	0.05											
	81 フェンチオン (MPP)	0.006											
	82 フェントエート (PAP)	0.007											
	83 フェントラザミド	0.01											
	84 フサライド	0.1											
	85 ブタクロール	0.03											
	86 ブタミホス	0.02											
	87 ブプロフェジン	0.02											
	88 フルアジナム	0.03											
	89 ブレチラクロール	0.05											
	90 プロシミドン	0.09											
	91 プロチオホス	0.007											
	92 プロビコナゾール	0.05											
	93 プロビザミド	0.05											
	94 プロベナゾール	0.03											
	95 プロモブチド	0.1											
	96 ベノミル	0.02											
	97 ペンシクロン	0.1											
	98 ベンゾビスシクロン	0.09											
	99 ベンゾフェナップ	0.005											
	100 ベンタゾン	0.2											
	101 ペンディメタリン	0.3											
	102 ベンフラカルブ	0.04											
	103 ベンフルラリン (ハ ^o スジ ^o ン)	0.01											
	104 ベンフレセート	0.07											
	105 ホスチアゼート	0.005											
	106 マラチオン (マ ^o カ ^o)	0.7											
	107 メコプロップ (MCPP)	0.05											
	108 メソミル	0.03											
	109 メタラキシル	0.2											
	110 メチダチオン (DMTP)	0.004											
	111 メトミノストロピン	0.04											
	112 メトリブジン	0.03											
	113 メフェナセツト	0.02											
	114 メプロニル	0.1											
	115 モリネート	0.005											

- ・ 水源名には、関係する水源等を全て記入する。
- ・ 原水水質は原則着水井水質とし、これがない場合は最も取水量の多い水源1ヶ所の水質とする。
- ・ なお、記入した原水の名称を () 内に記入する。(例 集合井、○○水源)
- ・ 浄水水質は原則浄水池水質とし、これがない場合は、代表的な地点1ヶ所の水質とする。
- ・ 目標値を超過している場合は、水質データの左の欄に「*」を記入する。
- ・ 「水道統計調査の水質編」又は「水道事業者等が独自に作成する水質年報等」を提出することで、本報告を省略することができる。

様式2-(1)

設置者名 (No.)

(年度) 水道給水フロー図

番号	(取水施設)	(浄水施設)	(送水・配水施設)	(給水地区)

* 番号は様式3-(3)の浄水場等状況表の番号と整合をとる。

* 県水受水の取水施設は受水場等とする。

< 凡例 >

水道施設

- ・浄水場 ;
- ・送・配水施設 ;
- ・同一敷地内 ;
- ・自然流下 ;
- ・ポンプ圧送 ;

浄水処理方法; []

基本処理

- 01=急速ろ過(消毒含む)
- 02=緩速ろ過(消毒含む)
- 03=消毒のみ
- 04=膜ろ過(消毒含む)
- 05=膜ろ過(海水淡水化、消毒含む)

その他処理

- 11=前塩素処理
- 12=中間塩素処理
- 13=後塩素処理
- 21=粉末活性炭
- 22=粒状活性炭
- 23=オゾン処理
- 24=生物処理
- 25=ストリッピング処理
- 31=エアレーション
- 32=マンガン接触ろ過
- 33=アルカリ剤処理
- 34=マイクロストレーナー
- 35=二段凝集処理
- 36=多層ろ過
- 37=鉄バクテリア利用法
- 38=酸処理
- 41=紫外線処理
- 39=その他の浄水処理

(浄水処理方法の番号は、水道統計調査の入力要領による)

様式2-(4)

設置者名	
------	--

水質検査の委託状況表

1 委託状況

	委託状況*			委託先	備考
	なし	一部	全部		
毎日検査項目					
水質基準項目					
水質管理目標設定項目					
要検討項目					
原水管理項目					

・*該当する欄に○を記入

2 今後の方針

--

様式 3-1 (浄水場ごとに記載)

実施年度	年度	浄水場等名称	
設置者名		当該施設からの 給水人口	

(ア) 水道原水に係るクリプトスポリジウム等による汚染のおそれの判断 (毎年度実施)

水源名 ※1				
水源種別 ※2				
おそれの判断 レベル (4・3・2・1)				

(水源域の排出源の有無)

排出源の有無 ※3	有・無	有・無	有・無	有・無
排出源の種類 ※4 1. 下、2. 雨、3. し、 4. 合、5. 畜、6. 集、 7. 牧	1・2・3 4・5・6 7 その他 ()	1・2・3 4・5・6 7 その他 ()	1・2・3 4・5・6 7 その他 ()	1・2・3 4・5・6 7 その他 ()

(原水の指標菌検査)

大腸菌 ※5	実施頻度		年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	
	定性	検出状況 (当該年度)	/	/	/	/	
		検出状況 (これまでの集計)	/	/	/	/	
	定量	最高値 (単位)					
		最低値 (単位)					
		平均値 (単位)					
嫌気性芽胞菌 ※5	実施頻度		年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	年1回 () 3ヶ月に1回 () 1ヶ月に1回 () その他 ()	
	定性	検出状況 (当該年度)	/	/	/	/	
		検出状況 (これまでの集計)	/	/	/	/	
	定量	最高値 (単位)					
		最低値 (単位)					
		平均値 (単位)					

(深井戸水源の隔絶性の確認 → 汚染のおそれの判断でレベル1とした施設のみ回答)

被圧地下水以外の水の混入の有無の確認 ※7	原水の水質検査	() 大腸菌は検出されていない	() 大腸菌は検出されていない	() 大腸菌は検出されていない	() 大腸菌は検出されていない
		() トリクロロエチレン等の汚染はない	() トリクロロエチレン等の汚染はない	() トリクロロエチレン等の汚染はない	() トリクロロエチレン等の汚染はない
		その他参考事項(具体的に記入)	その他参考事項(具体的に記入)	その他参考事項(具体的に記入)	その他参考事項(具体的に記入)
	井戸内部の撮影等	年 月実施	年 月実施	年 月実施	年 月実施
		年 月実施予定	年 月実施予定	年 月実施予定	年 月実施予定
		() 実施しない (その理由)	() 実施しない (その理由)	() 実施しない (その理由)	() 実施しない (その理由)
		() レベル2と 同じ対応	() レベル2と 同じ対応	() レベル2と 同じ対応	() レベル2と 同じ対応
		() 以下のとおり	() 以下のとおり	() 以下のとおり	() 以下のとおり

(原水のクリプトスポリジウム等検査)

クリプトスポリジウム等の検査 ※5	検査の項目	クリプト	ジアルジア	クリプト	ジアルジア	クリプト	ジアルジア	クリプト	ジアルジア
		スポリジウム		スポリジウム		スポリジウム		スポリジウム	
実施頻度	年1回 ()		()	年1回 ()		()	年1回 ()		()
	3ヶ月に1回 ()		()	3ヶ月に1回 ()		()	3ヶ月に1回 ()		()
	その他 ()		()	その他 ()		()	その他 ()		()
定性	検出状況(当該年度)	/	/	/	/	/	/	/	/
	検出状況(これまでの集計)	/	/	/	/	/	/	/	/
定量	最高値(単位)								
	最低値(単位)								
	平均値(単位)								

- ※1 認可を受けている水源のほか、将来使用計画のある水源についても記入する。
- ※2 表流水(湧水含む)、伏流水、浅井戸、深井戸、浄水受水又はその他(具体的に記述)のいずれかを記入する。
- ※3 表流水、伏流水にあつては上流域に、浅井戸にあつては取水施設の周辺に人間あるいはほ乳動物の糞便を処理する施設等の有無について選択する。
- ※4 排出源の種類について、「下」公共・流域下水道施設(終末処理場放流口)、「雨」公共・流域下水道施設(合流式下水道の雨水吐き等)、「し」し尿処理施設、「合」合併浄化槽、「畜」家畜糞尿の貯留、処理施設、「集」集落排水処理施設、「牧」家畜の放牧場(地)、「他」上記以外の排出源(具体的に記述)から選択する。
- ※5 実施頻度については、該当するものを選択するか具体的に記述する。
定性的な方法で検査している場合は、検出状況を「陽性件数/検査件数」で表し、定量的な方法で検査している場合は、最大値、最小値及び平均値を単位を含めて記入する。
- ※6 おそれの判断でレベル1の施設のみ、被圧地下水以外の水の混入の有無について、その確認状況を記入する。
井戸内部の撮影等を実施しない(予定のない)場合、その理由を選択ないし記入する。

様式3-2

(イ) 対策-1 【ろ過施設による対応】

(ア) でランク4又は3に該当し、ろ過施設を整備している(整備を計画している)浄水場に限り記入

当該年度に実施した対策又は策定した計画

現 況	浄水処理 ※7	① 急速ろ過(凝集あり) () ② 急速ろ過(凝集なし) () ③ 緩速ろ過 () ④ 膜ろ過 () ⑤ 消毒のみ ()	
	ろ過洗浄排水等 濁質低減機能	① なし () ② あり () ③ 非該当 ()	
	浄水場管理	① 24時間常駐 () ② 昼間常駐 () ③ 巡回 () ④ その他 ()	
	濁度管理状況	0.1度以下の濁度監視 ① 常時 () ② 定期 () ③ 不定期 () ④ 監視なし ()	
		濁度の連続記録 ① あり () ② なし ()	
	凝集剤注入率設定	① 手動 () ② 原水濁度連動 ()	
	卓上型濁度測定機器	① なし () ② 浄水場内 () ③ その他 ()	
	クリプトスポリジウム 等対策状況	① 対応未実施 () ② 平成8年10月以降に対策を実施 () ③ 平成8年10月以前に対策を実施 ()	
	浄水場での対応未実施 の場合の理由		
	対 策	連続濁度測定 計器の整備	現 況
計 画			整備予定年度: 年度 設置台数: 台、ろ過池等の数:
暫定措置			① 卓上型測定機器による測定 () ② 登録検査機関への委託による測定 ()
前年度と比べて新たに 実施された対策等があ れば記入すること			
水源対策を含む恒久 対策と実施予定年度 ※8			

※7 凝集剤注入施設のない急速ろ過は、②(凝集なし)として整理する。該当するものを選択する。

※8 クリプトスポリジウム等を除去できる浄水処理が実施されており、かつ連続濁度測定計器により濁度管理ができていない場合は必ずしも記入を要しない。

様式3-3

(イ) 対策-2 【紫外線処理設備による対応】

(ア) でランク3に該当し、紫外線処理設備を整備している（整備を計画する）浄水場に限り記入

当該年度に実施した対策又は策定した計画

現 況	ろ過施設の有無 ※7	① 急速ろ過（凝集あり）（ ） ② 急速ろ過（凝集なし）（ ） ③ 緩速ろ過（ ） ④ 膜ろ過（ ） ⑤ 消毒のみ（ ）	
	ろ過洗浄排水等濁質低減機能	① なし（ ） ② あり（ ） ③ 非該当（ ）	
	鉄・マンガン処理の有無	① なし（ ） ② あり（ ）	
	浄水場管理	① 24時間常駐（ ） ② 昼間常駐（ ） ③ 巡回（ ） ④ その他（ ）	
	原水の状況	当該年度の原水の水質検査結果 ① 色度（最大： 最小： 平均： ） ② 濁度（最大： 最小： 平均： ） （過去の水質検査結果における最大値： ） ③ 紫外線（253.7nm付近）の透過率（ ） % ④ 鉄（最大： 最小： 平均： ） ⑤ 硬度（最大： 最小： 平均： ） ⑥ マンガン（最大： 最小： 平均： ）	
	原水濁度の常時測定可能な濁度計の設置	① なし（その理由： ） ② あり（ ）	
	クリプトスポリジウム等対策状況	① 対応未実施（ ） ② 平成8年10月以降に対策を実施（ ） ③ 平成8年10月以前に対策を実施（ ）	
	浄水場での対応未実施の場合の理由		
	対 策	設置（予定）年月	年 月（設置済・予定） （変更認可年月： ）
		ランプ本体等の破損防止措置 ※9	① なし（ ） ② あり（具体的措置： ）
紫外線照射槽 ※9		設置基数： 基 （1基の場合、故障時の対応： ）	
非常用電源設備 ※9		① なし（ ）（停電時の対応： ） ② あり（ ）	
その他の安全対策 ※9		【具体的に記述】	
前年度と比べて新たに実施された対策等があれば記入			

※7 凝集剤注入施設のない急速ろ過は、②（凝集なし）として整理する。該当するものを選択する。

※9 紫外線処理設備の安全対策状況について選択あるいは具体的に記述する。

様式3-4

(ウ) 浄水処理の状況 (ア) でランク 3 及び 4 に該当する浄水場に限り記入)

【ろ過施設整備の機関】

① ろ過池出口の水の濁度把握状況

測定結果は、連続濁度測定計器による測定の場合は1ヶ月の平均値を、卓上型濁度測定機器による測定の場合は1ヶ月に1回以上の検査結果をそれぞれ記入すること。

測定回数及び検査機関 ※10		
測定場所		
測定結果	最大値	
	最小値	
	平均値	

② ①でろ過池出口の水の濁度が0.1度を超過した事例がある場合、その原因と措置を記入する。

測定年月日	測定結果	原因	措置

※10 卓上型濁度測定機器による測定の場合のみ記入すること

【紫外線処理施設整備の機関】

③ 紫外線照射槽内の紫外線強度把握状況

紫外線強度の確認方法		【具体的に記述】
測定結果	最大値	
	最小値	
	平均値	

④ ③で規定の紫外線強度が得られなかった場合、その原因と措置を記入する。

(規定：水量の95%以上に対して紫外線照射量が常に10mJ/cm²以上得られていること)

測定年月日	測定結果	原因	措置